

## ◎コスパノン錠 [内]

【重要度】 【一般製剤名】フロプロピオン flopropione 【分類】膽胆道・尿路系鎮痙剤

【単位】▼40mg・◎80mg/錠

【常用量】120～240mg/日

【用法】分3

【透析患者への投与方法】減量の必要なし [ただし腎不全患者の投与方法に言及した文献なし] (5)

【保存期 CKD 患者への投与方法】減量の必要なし [ただし腎不全患者の投与方法に言及した文献なし] (5)

【特徴】交感神経に作用して消化器、尿路系平滑筋の運動異常を改善させる。オッジ筋を弛緩し胆汁排世を促進させ、肝胆道、膝疾患に伴う腹部症状を除去する。尿路系に対しては尿路平滑筋の痙縮による疼痛緩和作用と腎血流量の増加に伴う利尿作用を併せもつ。尿路結石に伴う自覚症状を消退させるとともに結石の排出を促進する。

【主な副作用・毒性】悪心、嘔吐、胸やけ、腹部膨満感、発疹など

【tmax】1hr (1)

【代謝】尿中の代謝物はフロプロピオンのグルクロン酸抱合体、フロプロピオンに1～2分子の硫酸がエーテル結合したフェノールの化合物 (1)

【排泄】尿中に50～60%、糞中に20%回収され、尿中未変化体排泄率3.1% [ラット、72hr まで] (1)

【t1/2】約4hr [po] (1)

【蛋白結合率】不明 (1)

【Vd】不明 (1) Cmax データより Vd/F は26L/man 程度と推測 (5)

【MW】182.17

【透析性】不明 (1)

【TDM のポイント】TDM の対象にならない

【更新日】20141113

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院ではいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配言を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。